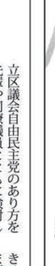
第9号 2023年(令和5年)

くじらい通信

発行
足立区議会議員 くじらい 実
〒121-0807 足立区伊興本町2-2-30
TEL 03(3855)0752
FAX 03(3855)0758

ご挨拶



初秋の候、時下ますます清祥の段、お慶び申し上げます。

過日行われました足立区議会議員選挙におきまして、6,891票という負託を頂き、二期目の当選を果たすことが出来ました。これまでお支え頂いた皆様に改めて感謝申し上げます。私としましては、この一期4年間の働きを認めて頂き、また今後の活動力を評価して頂いた票だと思っております。

前回よりもさらに増しました皆様からの想いを肩に背負い、責任感を持って活動に取り組んでいく所存です。

しかし、今回の選挙戦において、残念ながら多くの先輩・同志が落選の憂き目にあい、自民党にとって非常に厳しい結果でもありました。コロナ禍において、この約4年間、思うように後援会活動が出来ず、また細かい部分で至らない点があったのではないかと思います。これから4年間の任期中、反省すべきは反省し、新しい足立区議会自民党のあり方を先輩や同僚議員とともに検討していかねばならないと考えています。

現在、区民の皆様をはじめ、全国的に物価高騰、エネルギー価格の上昇といった日々の生活に直結する問題が広がっております。また、ここ数年苦しめられてきました新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたとはいえ、終息には至っておりません。様々な課題が山積しておりますが、この二期目では一期4年間で取り組んで来たことに更に上積みをして対応しなければならないと考えています。そのためにも、引き続き区自民線を大切に、ますます多くの皆様の声をお聞きしながら政策を進めてまいります。

私の主要政策の一つであります、竹ノ塚駅周辺整備も駅の高架化が実現した後のまちづくりが現在進んでおります。令和6年には「竹ノ塚エリアデザイン計画」が策定予定であるものの、まちづくりは一朝一夕でできるものではありません。まだまだ、ご意見を頂戴しながらではありますが、今後の活気に繋がっていくことを期待すると同時に、私も皆様との交流が増えることを楽しみにしております。

後援会においても徐々にではありますが、行事を行えるようになって来ました。なかなかお会いできない方にも、この「くじらい通信」によって活動の一端を知っていただけたら幸いです。

皆様のおかげで二期目も足立区の為に仕事をさせて頂けることになりました。今後とも、皆様からのご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

足立区議会議員 くじらい 実

くじらい実 現在の役職

足立区議会自由民主党
※政調副会長

自由民主党足立総支部連合会
※広報副委員長

所属委員会
(常任委員会)
○文教委員会 ※副委員長
(特別委員会)
○エリアデザイン調査特別委員会

所属議員連盟
○足立区鉄道高架化促進議員連盟 ※事務局長
○足立区地下鉄8号線整備促進議員連盟
○足立区オウム真理教対策議員連盟 ※事務局長
○日韓友好促進足立区議会議員連盟
○日台友好促進足立区議会議員連盟
○足立区議会拉致問題議員連盟 ※事務局長

所属各種附属機関
○足立区消防団運営委員会 委員
○足立区防災会議・足立区国民保護協議会 委員
○公益信託あだちまちづくりトラスト運営委員会 委員

＊イメージ図　店舗数は約25店舗、店舗面積は約700坪

約25店舗が出店へ!
竹ノ塚駅高架下に新しい商業施設
2024年上期開業予定!

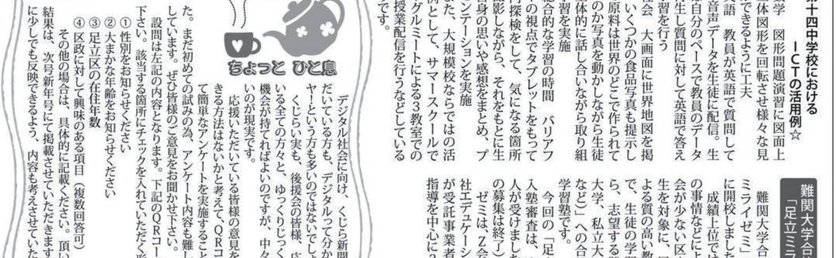
東武鉄道株式会社は、東武スカイツリーライン竹ノ塚駅周辺において、2024年度上期の開業を目指し高架下スペースを活用した商店街の開発計画を発表しました。

高架下スペースに平屋建ての商業施設を建設し、食料品や飲食店を中心に、生活雑貨など、近隣にお住いのお客様や通勤・通学で駅を利用する方々の利便性向上を図るものです。

2022年3月に足立区、UR独立行政法人都市再生機構）と竹ノ塚駅周辺のまちづくりに関する協定を締結し、竹ノ塚駅高架化を契機とした街づくりによるものです。

敷地面積は約1,600㎡、建築面積は約1,000㎡（テニスコート5個分の広さ）となっております。「区画」左側のI街区は、既に工事が着工しており、令和6年5月末工事完了を予定、II街区は、2023年10月中旬より工事開始予定、2024年1月より工事完了予定。III街区は、2024年1月より工事開始予定です。

＊工事に関する振動、騒音、粉じんなどの対策として、振動、騒音、粉じんが生じる工事については、事前に所定の掲示板にお知らせした後、工事を進めます。また、1週間ごとの日程表を仮囲いに設置して工事内容と日程を近隣の皆様にお知らせします。



上沼田東公園野球場が人工芝使用のグラウンドへ

上沼田東公園野球場は現在、人工芝化及びフェンスの改修工事中です。

完成後の野球場の面積は約6000㎡となり、ピッチャーマウンドや各塁間距離は、一般大人用・学童用両方に対応します。観覧席はAスタンド：屋根なし52名が2基、Bスタンド：屋根あり22名が2基、車いす観覧スペース2名が2か所と、選手・観客と楽しめる野球場に生まれ変わります。

新しいグランド舗装は、バッターボックス、ピッチャーマウンド、各塁上はアンツーカ舗装、その他の内野、外野全てが温度上昇抑制芝葉のロングパイル人工芝仕様となり、野球場にはナイター施設もできます。

上沼田東公園野球場の利用休止期間は令和6年3月31日までを予定しています。

ご利用者の皆さまには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

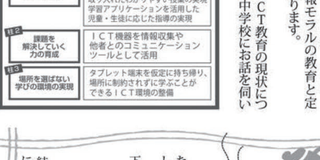
足立区のICT教育の取り組み

ICTとは通信技術を活用したコミュニケーションを指します。

令和4年度には、児童・生徒一人一台のタブレット環境整備が完了し、家庭への持ち帰りでの活用や新たなデジタル教材の導入が進められています。タブレット一人一台という環境を活用し、思考・身につけるための主体的な学び」の定着と、これからの社会を生き抜いていくために必要とされる「自ら情報を収集・整理・分析して課題を見つけ、多様な他者と協働しながら解決する力」の育成を目標にしています。一人ひとりの児童・生徒に学びを定着させていくためには「わかりやすい授業」と「児童・生徒の個に応じた指導」の両面からのアプローチが必要です。足立区では九割以上の教員が教員用タブレット端末を活用して授業を行っています。

今後の課題としては、家庭にタブレット端末を持ち帰るため、家庭学習のための道具という自覚と不適切なサイトに接続しないなど基本的な情報モラルの教育と定着が必要になります。

足立区のICT教育の現状について、第十四中学校にお話を伺いました。



☆第十四中学校におけるICTの活用例☆

◎数学　図形問題演習に図面上で立体図形を回転させ様々な見方ができるようにした。

◎英語　教員が英語で質問している音声データを生徒に配信。生徒は自分のペースで教員のデータを再生し質問に対して英語で答える学習を行う

◎社会　大画面に世界地図を掲示。いくつかの食品写真も提示しその原料は世界のどこで作られているのか写真を動かしながら生徒が主体的に話し合いながら取り組む学習を実施

◎総合的な学習の時間　バリアフリーの視点でタブレットをもって校内探検をして、気になる箇所を撮影しながら、それをもとに生徒自身の思いや感想をまとめ、プレゼンテーションを実施

また、大規模校ならではの活用例として、サマースクールでグーグルミートにおいて多人数で一斉授業配信を行うなどしているそうです。

難関大学合格を目指す「足立ミライゼミ」開校

難関大学合格を目指す「足立ミライゼミ」が7月11日（火）に開校しました。

成績上位ではあるものの、家庭の事情などにより塾などの学習機会が少ない区内在住の高校1年生を対象に、民間教育事業者による質の高い教育を提供することで、生徒の学習意欲を高めながら、志望する難関大学（国公立大学、私立大学（早稲田・慶応など））への合格を目指す無料の学習塾です。

今回の「足立ミライゼミ」の学習面は、定員の約2倍の58人が受けました。（令和3年度分の募集は終了）

ゼミは、Z会グループの株式会社エデュケーションネットワークが受託事業者となります。個別指導を中心に3年間通えます。

ちょっと ひと息

デジタル社会に向け、くじら新聞を読んでいただいている方も、デジタルとか言われてもイヤーという方もいるのではないでしょうか？

くじらい実も、後援会の皆様、応援いただいている全ての方々と、ゆっくりじっくりお話をする機会が持てればよいのですが、中々そうもいかないのが現実です。

応援いただいている皆様の意見をもっと反映できる方法はないかと考えて、QRコードを利用して簡単なアンケートを実施することにいたしました（複数回答可）。

ぜひ皆様のご意見お聞かせ下さい。

設問は左記の内容となります。下記のQRコードからお入り下さい。該当する箇所にチェックを入れていただく形となります。

① 性別をお知らせください
② 大まかな年齢をお知らせください
③ 足立区の在住年数
④ 区政に対して興味のある分野

その他の場合は、具体的に記載ください。頂いたアンケートは、次号新年号にて掲載させます。今後、区政に少しでも反映できるよう、内容を考えさせていただきます。

伊興の陶芸家 横山敏夫さん

陶芸との出会いは、50歳の頃。このまま歳を重ねるのもつまらでもなぁ、何か楽しみを見つけたい！と、谷塚橋を渡ったところのメッキ工場の片隅の陶芸教室に見学に行った。その場で「やってみますか？」これが陶芸との運命的な出会いでした。

横山敏夫さん。

その教室では、玉づくりをして、「玉の様に丸くした粘土の中心をへこませ回しながら（ろくろを使用）形にしてください」と、先生と年齢も近くとても気が合って、楽しい時間を過ごしました。

その頃、伊興仲町会の会長に就任したため、日曜日様々な行事があり、谷塚橋の教室に行けなくなってしまい、平日行ける舎人の教室に変えた。そこでは、手びねり紐づくりといって粘土を紐状にして重ね、形を作る方法を採っており、こちらにも数年通いました。

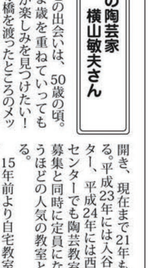
町会長として、子ども会に声をかけ子どもにも焼き物に触れてもらう機会を作ったこともある。50人ほどの子どもが集まり、粘土に触れ大いに楽しみ、喜んでもらったそうです。

また、平成14年5月からは、東伊興住区センターで陶芸教室を開き、現在まで21年も続いている。平成23年には入谷住区センター、平成24年には西伊興住区センターでも陶芸教室を開催、募集と同時に定員になってしまうほどの人気の教室となっています。

15年前より自宅教室も開いており、現在20名ほどの生徒が通ってくる。工房には横山さんの作品はもとより生徒さんの作品も並べられており、ちょっとした美術館の様。写真は釜から出したばかりの新作で、牡蠣の殻を一緒に窯に入れて焼いたそうで、一部キラキラ輝いています。

棚には唯1つと色分けされた生徒ノート用に、名前と顔写真、出来上がった作品とどんな釉薬（うわぐすり）を使用したかなどと細かく記載されていて、横山さんの繊細かつ愛情深いお人柄がわかる。

東伊興小学校で陶芸教室を開いたり、夏休み・冬休みには、小学生が自由作品作りや体験に来ると、大忙し。なにしろ、生徒は小学生から90歳まで年齢に幅があって……と微笑み、「様々な大勢の方との交流が好き」とおっしゃる、まだまだ意欲満杯の78歳である。



くじらい実後援会
相談役
横山 敏夫
元伊興仲町会会長

くじらい実後援会 行事予定

■くじらい杯ゴルフ大会
令和5年11月22日（水）
常陽カントリー倶楽部（20組）

↑QRコードを読み取っていただくと、きれいなカラー写真がご覧いただけます

←こちらでも日々の情報を発信しています。
Instagram ホームページ
facebook
Twitter
くじらい実 検索